

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和3年：すまいる KIDS 定員 10名 契約児童：21名 回収数 19名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備業務改善	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			各フロア人数を決めて取り組んでいる。混雑する際は職員が声掛けし各エリア広々と利用できるように取り組んでいる。
	②	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			ミーティング、終礼、会議等で各児童 PDCA について話し合いをしている。
	③	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			保護者・職員から受けた評価をまとめて HP に公開、保護者の方にはプリントでも配布している。
	④	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			月に 1 回社内研修を行っている。
適切な支援の提供	⑤	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個人個人に沿った計画を作成している。
	⑥	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		標準化されたアセスメントシートであるかはわからないが K I D S 独自のアセスメントシートを活用している。
	⑦	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			プログラムの内容は職員間で話し合い、いろいろな活動で固定化されない内容や毎日固定で練習し行う事などを決めている。
	⑧	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			平日は将来に向けての継続した練習をメインで休日は遊びやイベント事などを入れて個別や集団での活動に取り組んでいる。
	⑨	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			平日は将来に向けての継続した練習をメインで休日は遊びやイベント事などを入れて個別や集団での活動に取り組んでいる。
	⑩	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎日ミーティングを行い、支援の内容や役割分担について確認を実施している。
	⑪	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			毎日終礼を行い、子どもの状況や特記事項などの確認を行っている。

	⑫	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			毎日の支援後に各担当がその日の支援内容や様子を記録している。 毎日支援終了後にその日の記録を入力し、休みの職員は次の勤務前に必ず確認するようにしている。
	⑬	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			毎月モニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			管理者・児童発達管理責任者が参加している。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		学校により行事予定表などは保護者にもらうように言われている。 学校によってはメールで予定表の配布がある学校もある。 連絡調整は主に FAX・メールで行っている。
	⑯	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			卒業後の担当者と子どもの様子や支援内容を引き継いでいる。
	⑰	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時に直接伝えている。
	⑱	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			送迎時や電話、要望があれば進路相談などを行っている。
	⑲	個人情報に十分注意しているか	7			掲載同意書に同意した方以外は写真を掲載しないよう徹底している。
非常時等の対応	⑳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			言葉を選んだり、よりわかりやすい絵カードを使用して個々に合わせて対応するようにしている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年2回 総合避難訓練を行っている。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			年2回 虐待防止マネージャーによる社内研修を行っている。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			職員会議時に共有している。